

担当教員 岸上伸啓				
開始時期 後期	開講期間 半期	科目番号 20DCSa06	授業形態 講義・演習	単位 2
キーワード 現地調査法、現地調査の準備、リサーチ プロポーザル		対象学年 1 学年	聴講・参加資格 専攻	
科目名称：日本語 比較社会研究演習 II				
科目名称：英語 Seminar II (Social / Cultural Anthropology)				
科目の概要：日本語 文化人類学の研究動向と研究課題				
科目の概要：英語 Research Trends and Topics in Cultural Anthropology				
科目の目的： 各自の研究課題をどのように調査・研究すべきかについて検討し、博士論文作成のための調査研究計画書作成の準備を行う。				
学習成果・習得する技能や知識： 博士論文のための調査を実施するために必要な準備を行い、リサーチプロポーザルを完成させる。				
成績評価方法・基準： 出席(30%)、口頭報告の内容(50%)、議論への参加(20%) ・ 3 分の 2 以上の出席。 ・ 各自の調査準備に関する報告が適切に行われているか。 ・ 質疑応答が的確で、批判的な検討を行っているかどうか。				
授業内容： 各自が博士論文調査に関連して下記のテーマについて報告し、参加者全員で検討を加える。 (1) 博士論文と研究課題、調査について (2) 研究課題名と研究目的、研究の背景 (3) 先行研究と研究の位置付け (4) 学術的・実践的意義 (5) 具体的な問題設定と期待される成果 (6) 調査地の選定と概要について (7) 調査の視点と方法について (8) 調査研究計画 (9) リサーチプロポーザルの発表と検討 (10) 総合討論				

日程： 金曜 2 限(10:30～12:00)、第 1 回は 10 月 7 日
実施場所： 大学院セミナー室
使用言語： 日本語
その他使用言語： 英語
準備学習： 各テーマについて事前に報告準備を必要とする。
関連科目・履修条件： 特になし。
教科書・必読書： 特になし。
参考書・その他の教材： 特になし。
備考： 地域文化学・比較文化学の 2 専攻の学生のみ申請可